

## － 第97回 メーデースローガン －

「対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来  
真の働き方改革で、安心してらせる社会を！」

### ＝ 第97回桑員地区メーデー宣言(案) ＝

本日、私たちは第97回桑員地区メーデーを開催した。

労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展や恒久平和を希求するメーデーの社会的意義は不変である。多様な仲間がつながること、団結することの重要性を認識するとともに、多くの仲間が結集する喜びを皆で分かち合おう。

東日本大震災から15年、熊本地震から10年、能登半島地震から2年が経過した。改めて犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表す。近年、気候変動による豪雨など自然災害は激甚化・頻発化しており、防災・減災の取り組みを一層強化するとともに、支え合い・助け合いの輪を広げていく。

国際社会では、多国間主義や国際協調が揺らぎ、国家利益を優先する動きが強まる中で対立と分断が進んでいる。

各地で紛争や軍拡が続き、民主主義や人権が脅かされる状況も深刻化している。世界の働く仲間と連帯を強め、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現をめざし、平和運動を力強く進めていく。

私たちは、すべての働く者のくらしの向上にこだわり、2026春季生活闘争を展開している。物価高の長期化により個人消費は低迷し、格差の拡大と貧困層の増加が深刻化している。賃金の底上げや格差是正、価格転嫁、適正取引を実現し、経済の好循環を実現しなければならない。

働き方改革の見直しが議論される中、働く者の健康と尊厳は守られなければならない。過労や心身の不調を招きかねない長時間労働は、持続可能な社会の基盤を弱めるものであり、これを助長しかねない制度の拡大は認められない。職場の実態に即した丁寧な議論と十分な検証を求め、健康と生活が守られる労働環境の確立をめざす。

私たちは、平和と人権が尊重され、多様性を認め合い、すべての働く仲間が安心して働き、くらせる社会の実現に向け、対話を通じて仲間の輪をひろげ、集团的労使関係を強化・構築するとともに、働く者・生活者を優先する政治・政策の実現を求める。

今こそ、私たちの連帯の力によって、誰一人取り残されることのない社会を築いていこう！

対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来  
真の働き方改革で、安心してらせる社会を！

以上、ここに宣言する。

2026年4月18日  
第97回桑員地区メーデー